



発災時（受入れ・運営）のチェックリスト



地域防災拠点での受入れ

✓ここをチェック

- 検温チェックや受付の担当者はマスクの他に手袋、フェイスシールドを着用している。
- 検温チェックなどを行うための受付、一般避難者用の受付、体調に不安がある方及び発熱等の症状がある方用の受付がそれぞれ設置できている。
- 検温チェックなどを行うための受付には、アルコール消毒液、マスク、体温計（非接触・腋下）、アクリルボードが準備されている。
- 一般の避難者用、体調に不安がある方及び発熱等の症状がある方の受付に避難者カードが用意されている。
- 受付に間隔をあけて並べるような目印がある。
- 発熱や咳等の症状が出た方及び濃厚接触者のための専用スペースまでの動線が確認できている。
- 自宅療養者が避難してきた際の対応が確認できている。



地域防災拠点の運営

- 拠点運営委員及び避難者のマスクの着用や手洗いの徹底など、基本的な感染症対策ができている。
- 定期的な清掃、消毒や換気ができている。
- 避難者同士（個人または家族単位）の間隔は少なくとも1 mは確保できている。
- 食事をするときは互い違いに座ったり、同じ方向を向いて座ったりして食べるようにできている。
- 発熱や咳などの症状が出ている方と接触する担当者はマスクの他に手袋やフェイスシールドを着用している。
- 発熱や咳などの症状が出ている方との不要かつ長時間の接触はしないようにしている。
- 発熱等の症状が出ている方及び濃厚接触者用のスペースでは、各人のスペースが間仕切り等で区切られている。
- 食料や物資の配付は、手渡しでなく、置いてあるものを取ってもらうなどの工夫がなされている。
- 使用済みのマスク等、発熱等の症状がある人の弁当の容器等のごみについては、直接手で触れないようにしている。